

講義名称	卒業研究 I	担当教員名	李 元重
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	REQ211

授業のキーワード	キリスト教、歴史、日本の社会と文化
授業の概要	キリスト教、歴史、日本の社会と文化に対して思考力を高めます。それらと関わる様々なテーマの中で、学生が興味と関心を持っている一つを選び卒業論文を準備します。
期待される学習成果 (目標)	1. キリスト教・歴史・日本の社会と文化に対して総合的かつ主体的に考えます。 2. 論文を読み、批評的に自分の意見を述べます。 3. 自分の中で問題意識を見出し、自主的に追求します。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の概観、卒業論文について説明します。
2	論文の書き方1	『最新版大学生のためのレポート・論文術』を読み、発表します。
3	論文の書き方2	同上
4	論文の書き方3	同上
5	小論文の作成と発表	各自が書いた小論文を発表し話し合います。
6	他者が見た日本文化1	『菊と刀』を読み、話し合います。
7	他者が見た日本文化2	同上
8	他者が見た日本文化3	同上
9	他者が見た日本文化4	同上
10	日本におけるキリスト教1	提供される資料を読んで、担当者は発表し、話し合います。
11	日本におけるキリスト教2	同上
12	日本におけるキリスト教3	同上
13	日本におけるキリスト教4	同上
14	日本におけるキリスト教5	同上
15	論文の準備	卒論にむけて、夏休み中の課題を説明します。

定 期 試 験	定期試験は行いません。
授 業 時 間 外 学 習	毎週課題とする読み物を読み、自分の意見・感想を準備します。発表を担当する場合は、発表の資料を準備します。卒論に向けてテーマを考え資料を収集します。お勧めの聖書を読んでまとめます。
評 価 方 法	①読み物の熟読、授業中の質疑・応答などの積極的参加(50%)、②担当部分の発表(50%)、③聖書レポート(追加点として最大10%)
使用する教科書(必ず購入してください)	小笠原喜康『最新版大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書、2018年。ルース・ベネディクト(著)、長谷川松治(訳)『菊と刀』講談社学術文庫、2005年。
参 考 文 献	新約聖書(各種翻訳)。土肥昭夫『歴史の証言』教文館、2004年。古屋安雄『日本のキリスト教』教文館、2004年。佐々木勝彦『日本人の宗教意識とキリスト教』教文館、2014年など。